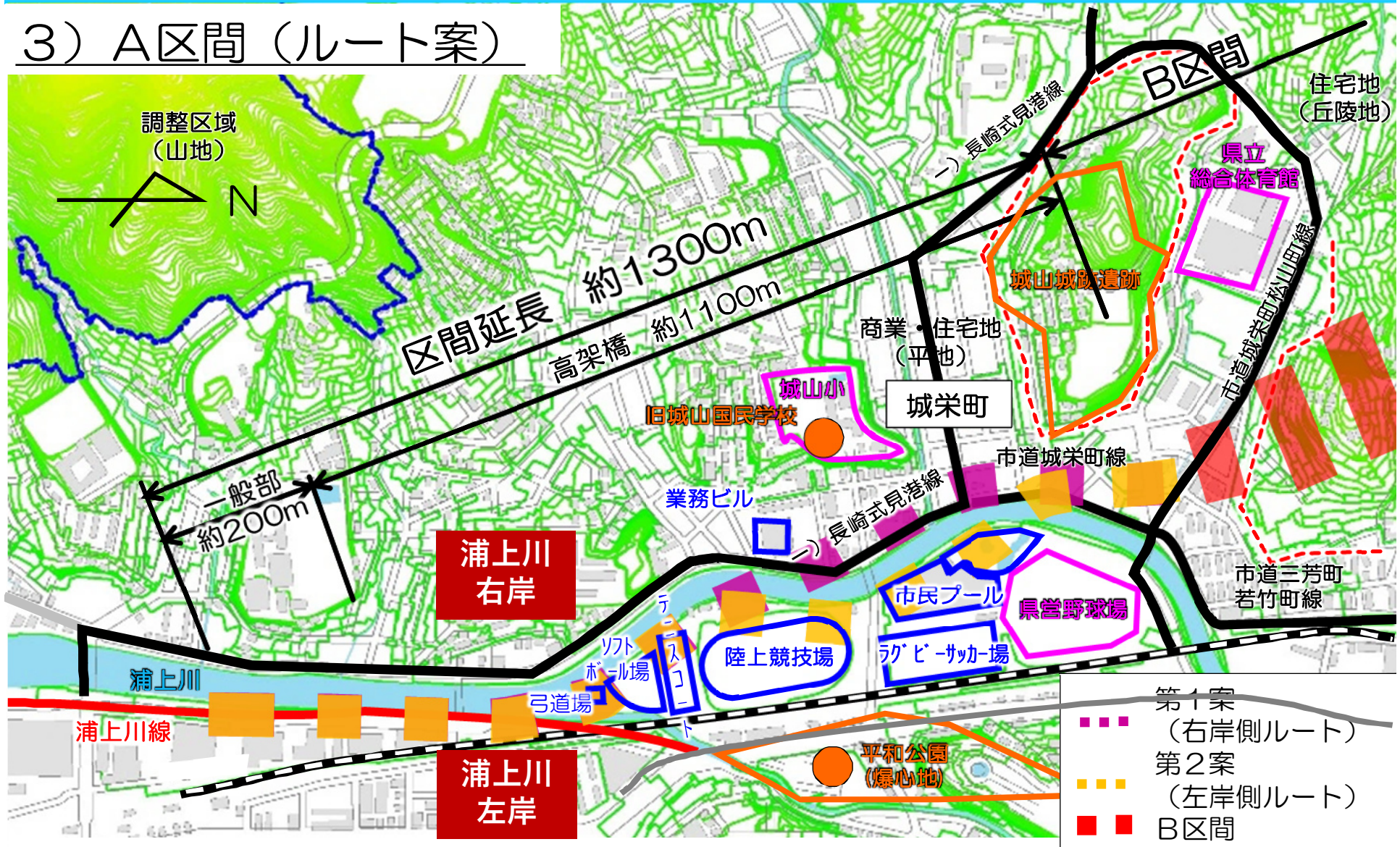


目次

| | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 前回のまとめと意見への対応 | P 4 |
| 2. ルート検討の前提条件 | P 1 0 |
| <u>3. ルート選定（2次選定）</u> | <u>P 1 9</u> |
| B区間 | P 2 1 |
| <u> A区間</u> | <u>P 3 2</u> |
| <u> C区間</u> | <u>P 3 7</u> |

3. ルート選定 (2次選定)

3) A区間 (ルート案)



【ルート概要】

- ・コントロールポイントを回避し、浦上川の右岸と左岸にそれぞれ沿ったルート。
- ・第1案 (右岸側) は「城栄町側」を通過し、第2案 (左岸側) は「市民プール側」を通過する。

3. ルート選定（2次選定）

3) A区間（ルート案・現況写真）



茂里町方向から時津方向をのぞむ

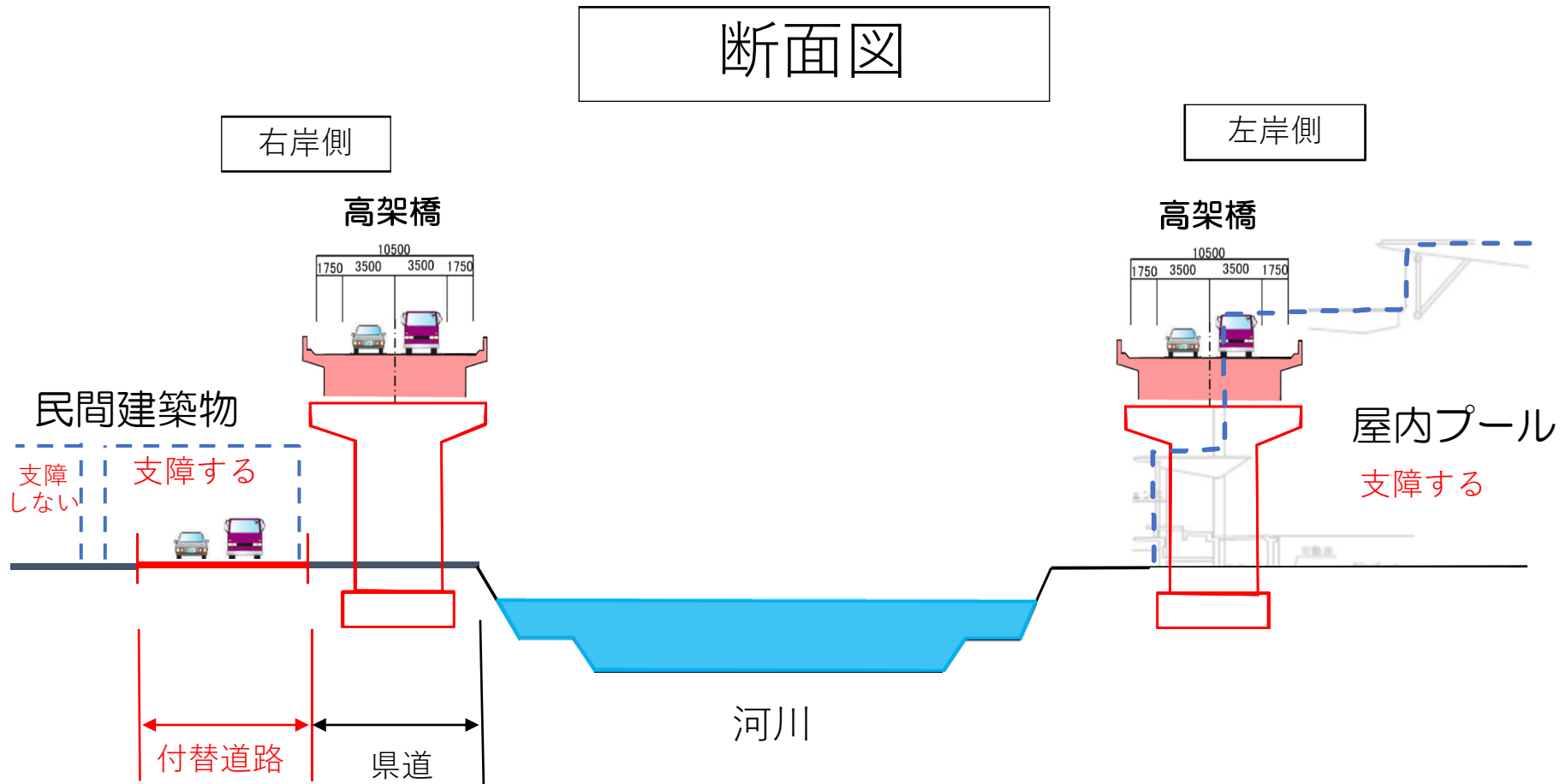
【現況】

- 右岸側は、城栄地区の商業・業務・住居系の建物が建ち並び
- 左岸側は、陸上競技場、市民プール、県営野球場などが立地する

3. ルート選定（2次選定）

3) A区間（ルート案・断面図）

断面図



現道上に橋脚を設置するため、市街地側に道路を付け替える必要がある。

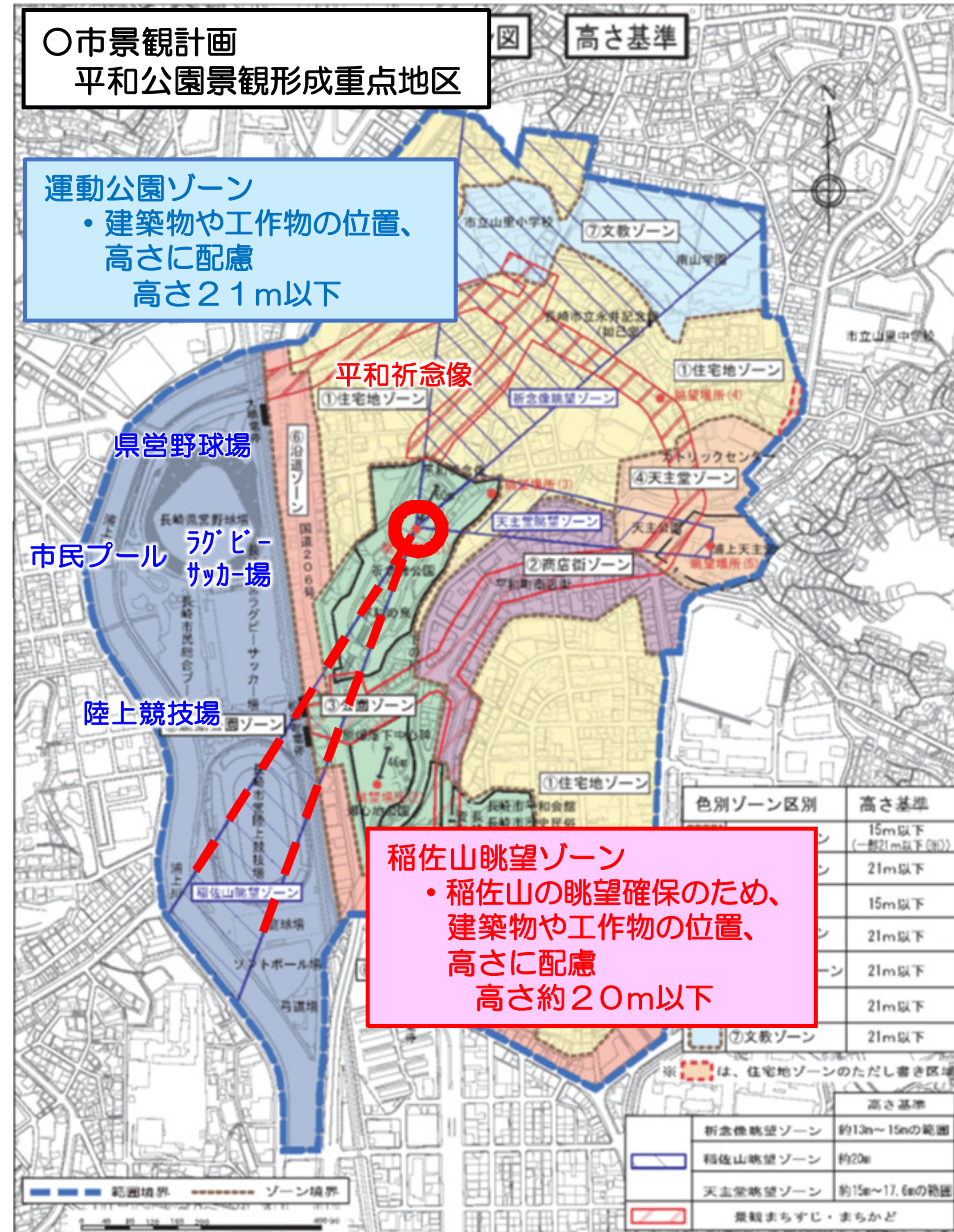
屋内プールの移転が必要となる。

3. ルート選定 (2次選定)

3) A区間 (ルート案・景観規制)



稲佐山眺望ゾーン



3. ルート選定（2次選定）

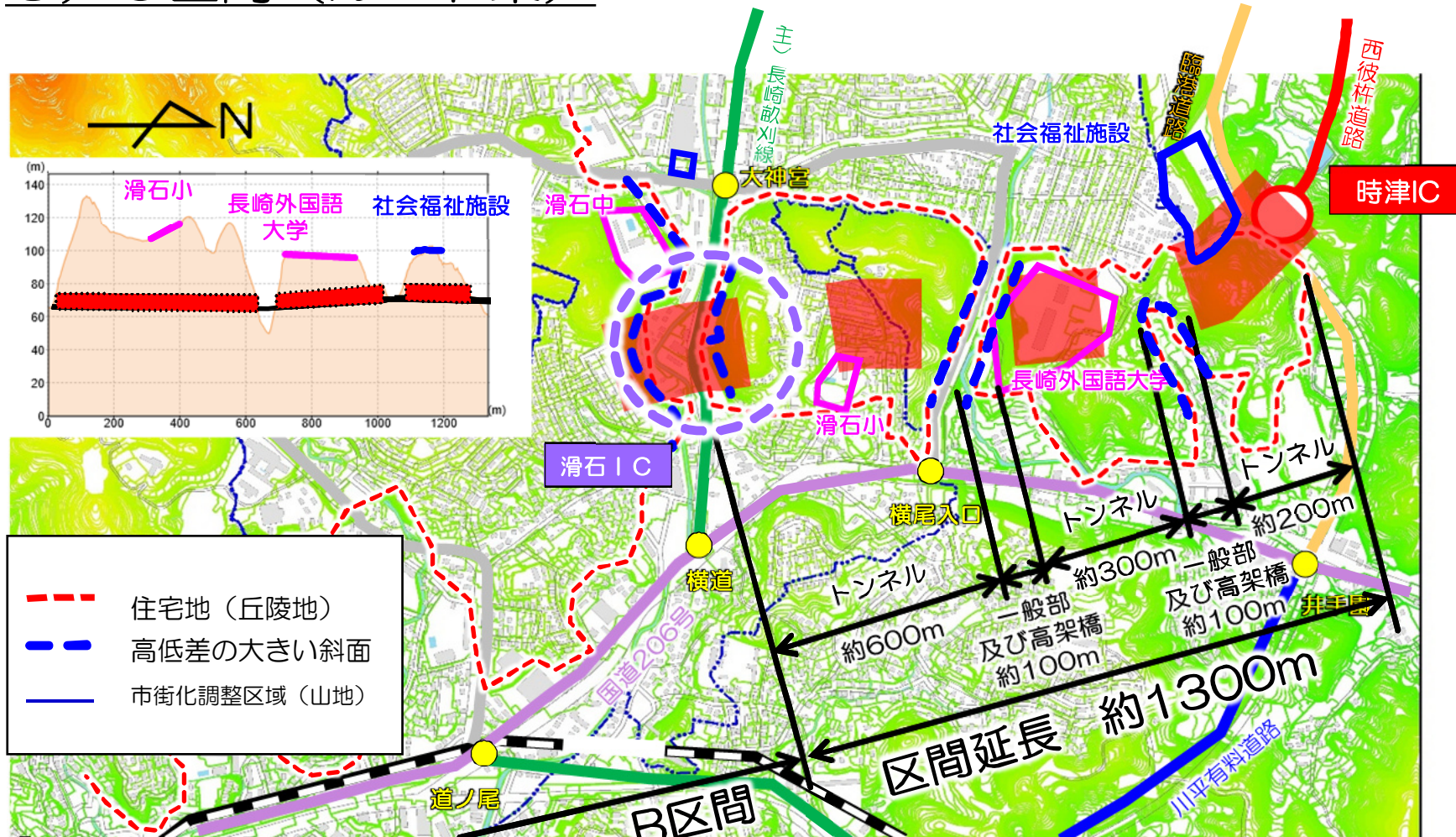
2) A区間（ルート比較表）

| | | 第1案 | 第2案 | |
|--------------|------------|---|---|--|
| 概要 | ルートコンセプト | 規模の大きな公園施設（屋内プール）を回避するルート （浦上川の右崖を通るルート） | 既成市街地を回避する （浦上川の左崖を通るルート） | |
| | ルートの特徴 | <ul style="list-style-type: none"> 平和公園（広場のゾーン）の一部競技施設を通過する。 浦上川右岸の沿道では、建物が密に立地し、比較的規模の大きなRC建物も立地している。 用途地域は近隣商業地域、準住居地域で、商業・業務や住居系の土地利用が混在している。 | <ul style="list-style-type: none"> 平和公園（広場のゾーン）の一部競技施設とともに、大規模な建物（屋内プール）を通過する。 浦上川左岸は公園施設が立地しており、補償対象となる民間の建物は立地していない。 用途地域は準住居地域で、主に住居系の土地利用がされている。 | |
| | 概略延長 | 約1.3km | 約1.3km | |
| | 主な構造形式（想定） | 高架橋 | 高架橋 | |
| 評価項目（基本ルート） | 既成市街地への影響 | ①想定される移転建物、その構造 | <ul style="list-style-type: none"> 浦上川右岸の沿道で、階数が高く、比較的大きい規模の鉄筋コンクリート造建物を含む建物が支障する。約30件。（×） 平和公園（広場のゾーン）の一部競技施設に支障し、補償により移転を要する可能性がある。（△） | <ul style="list-style-type: none"> 浦上川を渡河した先で主に木造家屋が支障する。約10件。（○） 平和公園（広場のゾーン）の一部競技施設に支障し、補償により移転を要する可能性がある。また、大規模な建物（屋内プール）の移転を要する。屋内プールの補償費約75億円。（×） |
| | | ②環境（騒音、振動、排ガス等）や景観への影響 | <ul style="list-style-type: none"> A区間すべてにおいて、環境及び景観（眺望）への影響が考えられる。（×） 長崎市景観計画の高さ規制（H=20m）を満足できる。（○） | <ul style="list-style-type: none"> A区間すべてにおいて、環境及び景観（眺望）への影響が考えられる。（×） 長崎市景観計画の高さ規制（H=20m）を満足できる。（○） |
| | | ③地域コミュニティへの影響 | <ul style="list-style-type: none"> 沿道の支障建物の移転により、『地域住民の利便施設の減少』『商業・業務施設の減少に伴う地域活力の減少』などの、地域に与える影響が懸念される（×） | <ul style="list-style-type: none"> 配慮すべき地域コミュニティはない。（○） |
| | 施工性 | ①施工ヤードや工事用道路の確保 | <ul style="list-style-type: none"> 市街地を通過するため、施工ヤードや工事用道路の確保は制約が大きい。（×） | <ul style="list-style-type: none"> 公園内を通過するため、施工ヤードや工事用道路の確保は比較的容易である。（○） |
| ②交通規制や道路の切回し | | <ul style="list-style-type: none"> 市街地内の限られたスペースでの施工で、歩行者を含む一般交通の影響をうけるため、頻度の高い交通規制や道路の切り回しが生じる。（×） | <ul style="list-style-type: none"> スペースに余裕があり、歩行者を含む一般交通の影響をうけないため、交通規制や道路の切り回しは要しない。（○） | |
| ③工事による環境影響 | | <ul style="list-style-type: none"> 市街地に隣接して多くの工事が施工されることから、環境影響が懸念される。（×） | <ul style="list-style-type: none"> 高架橋部で周辺市街地からも距離があることから、環境影響は小さい。（○） | |
| 経済性 | | 【概算事業費】 約155～175億円（○） | 【概算事業費】 約205～225億円（×） （うち、屋内プールの補償費約75億円を含む） | |
| 総合評価 | | | | |

（評価）○：優れる、△：やや劣る、×：劣る

3. ルート選定（2次選定）

3) C区間（ルート案）



【ルート概要】

- 滑石ICと時津ICの間隔は短く、互いの位置はおおむね固定されており、ルート帯が限定されるため、複数ルートの設定や比較検討は行わない
- 滑石小、長崎外国語大学は地下部を通過することで、回避できる